



拡大・NBI内視鏡について

副院長 三宅 三喜男

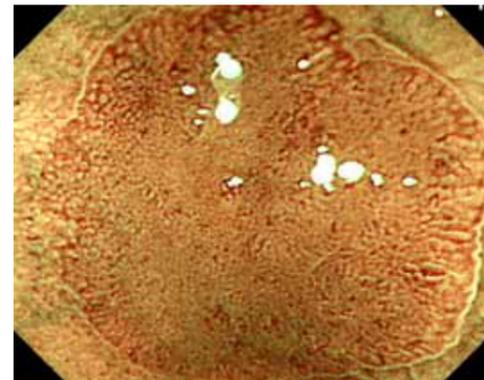
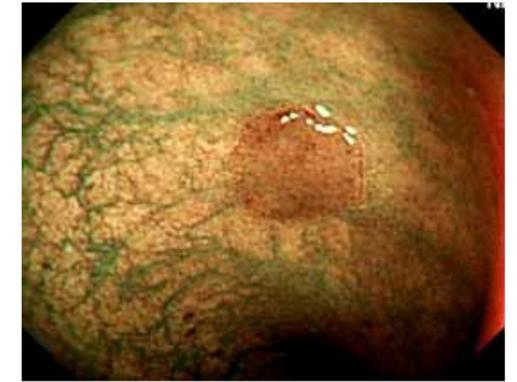
この度、当院内視鏡システムに拡大内視鏡並びにNBI内視鏡を御用意いたしました。市内初で県内でも数箇所にはかない装備であります。ここで、それらの特徴的な機能を簡単に御説明いたします。

拡大内視鏡は文字どおり拡大機能であります。光学70倍、デジタル1.8倍、合せて144倍の拡大観察が可能です。これにより微小病変の観察が従来よりも飛躍的に正確に出来るようになりました。

NBI内視鏡のNBIは、和訳すると狭帯域光イメージであります。一般の内視鏡は、粘膜組織を自然な色で再現するために広いスペクトル幅を持つ光が照射されます。一方で、この広いスペクトル幅の光は、診断に重要な粘膜表層の血管構築やピットパターンと呼ばれる粘膜の微細構造のコントラストを低下させる原因となっていました。NBIは、粘膜組織や血中ヘモグロビンの光学特性に最適化したスペクトル幅の狭い光(狭帯域光)を使用することにより、診断に関連する画像のコントラストを向上さ



せ、高い描写能力で表示します。そのため、**従来組織検査でしか悪性度を表現できませんでしたが、この機能を使えば生検しなくても見たままで悪性度を評価することが出来ます。**現在、顕微鏡による病理学からNBIによる病理学へと内視鏡診断学は大きく変貌しつつあります。NBIと拡大内視鏡を組み合わせることで、さらに正確な診断が可能となります。ポリープは悪性度を評価しながら、その場で切除が可能となりました。



- : 通常光による大腸腺腫の観察像例
- : NBIによる大腸腺腫の観察像例
- : NBIと拡大機能を併用した大腸腺腫の観察像例

以上、当院の内視鏡システムの機能拡大について説明させていただきました。昨年度から始めました経鼻(鼻カメラ)内視鏡ともども、新システムのご利用を心からお待ちしております。

患者様の権利について

私たちは患者様の権利を尊重し、信頼関係を築き患者様中心のあたたかい医療の実践に努めます。

1. 患者様の意思を尊重し満足される医療を提供いたします。
2. 治療の説明を受け、選択や拒否ができるように致します。
3. プライバシーを尊重いたします。

病院理念

1. 21世紀における最も大切な人間の生活の質を向上させる医療を分担する。
2. 患者様に優しい医療、インフォームドコンセントを重視した医療を提供する。
3. 全職員が医療人としての使命感と誇りを持った医療を心掛ける。

新任医師の紹介

放射線科医長
野口 尚美



4月1日より放射線科にて勤務させていただいております。CTやMRIなどの写真の読影診断と、胃バリウム検査などを担当しています。

普段は患者様と直接お会いする機会があまりありませんが、上記の検査などについて、不安や疑問などありましたら、お気軽にご相談ください。



放射線科 野口 尚美(のぐち なおみ)
岡山大学 医学部卒業 放射線科専門医

**玉野市基本健康診査の
お知らせ**



70歳以上の基本健康診査実施については、心臓病、脳卒中等、循環器疾患及び肝疾患など早期に発見し、栄養や運動などの生活指導や適切な治療に結びつけることにより予防することを目的としております。

今年の実施期間は5/1(火)～6/30(土)までの2ヶ月間で受診者個人負担は1,000円です。(当院では土曜日は休診です)

受診手続きといたしましては、**当院では予約制**ですので、予約希望の方は、主治医診察日に予約をしていただき、来院時に健康手帳・健康診査票持参で空腹での来院になります。当日お薬は服用いただいて結構ですが、糖尿病のお薬を服用されてる方は検査日にはご遠慮ください。

南病棟病室全室自動水洗へ。

衛生面、感染予防の面から南病棟の病室を全室自動水洗にいたしました。これにより、蛇口に触ることなく、手を出さずだけで水が流れ衛生面で大変優れています。



AED(自動体外式除細動器)設置。

この度、正面玄関を入られて左側(薬局の右側)に、AED(Automated External Defibrillator)自動体外式除細動器を設置いたしました。AEDとは心臓突然死の原因となる急性の危険な不整脈の発生時に電気ショックを与え、心臓を正常な状態に回復させます。



エアコンを新型に。

2F病棟から南病棟の通路のエアコンを、新型のエアコンに変更いたしました。また、内科3診、整形外来診察室にも新たに設置いたしました。冷暖房能力は変わらず低騒音で省エネルギータイプのものです。

